



春を迎える前に

校長 鶴田 欽也

立春も過ぎ、2月も後半、日本でも新型コロナウイルスによる肺炎の流行が心配です。風が冷たく感じられるときもありますが、夕方の日の長さ、昼間の日光の明るさに春を感じます。

春は卒業、入学、就職、進級...と、人は動き、別れと出会いの時期です。期待と不安の入り混じった、なんだかそわそわして落ち着かないときでもあります。ただ、暖かな春が来る前の2月は、年度のまとめの時期——ここが踏んばりどころです。春を迎える前に、本年度のまとめをしっかりとやっておきたいものです。

■ 山口佐賀県知事の学校訪問

1月21日(火)の午後、山口祥義佐賀県知事が初めて本校を訪問されました。音楽室でのピアノ独奏会のあと、相談・支援室とパソコン室の見学、図書室での寄宿舎生・教職員との意見交換会と続き、寄宿舎にも立ち寄っていただきました。

意見交換会では、寄宿舎生のみなさんが本校での学習の様子や、寄宿舎での生活の雰囲気やいきいきと語り、先生方からは本校の教育実践のあり様や、視覚障害教育における本校の果たす役割についての説明を行いました。山口知事からは「みなさんは、明るく、元気に自分の夢や目標に向かってがんばっている。みなさんの力になりたい」といったコメントもいただきました。手前味噌かもしれませんが、温かみを感じられる、アットホームな交流会となったと思います。

山口知事も、盲学校を外から見るのと、実際に盲学校を訪問し生徒たちとことばを交わされた後では、随分異なる印象を持たれたのではないかと思います。40分間ほどの訪問でしたが、学校のことを多少なりともご理解いただけたのではないかと思います。

■ 鍼供養、鍼・あん摩競技会

1月31日(金)午後「鍼供養」と「鍼・あん摩競技会」を開催しました。一般に「針供養」は、裁縫で使用される「縫い針」の供養で、折れたり古くなった縫い針に感謝し、針を豆腐やこんにゃくなどの柔らかいものに刺して供養し、あわせて裁縫の上達を祈る儀式です。本校の「鍼供養」は、例年1月末から2月初旬に開催される恒例行事で、理療科のみなさんが学んでいる鍼に対する感謝の気持ちとともに、技術の上達を祈って行われています。鍼供養は、全国でも珍しい行事と聞いています。道具に対する感謝の気持ち、技術の上達を願う想い、様々な想いが重なった伝統行事として、これからも鍼供養を大切にしていきたいと考えています。

鍼・あん摩競技会も50年以上続く本校の伝統行事のようで、保健理療科と専攻科理療科10名全員が参加しました。会場の臨床室は日頃とは異なる雰囲気、ピンと張りつめた緊張感の中、熱気があふれていました。生徒のみなさんは、鍼とあん摩、それぞれ定められたルールに従って、これまで習得した技術を十二分に発揮していました。

■ 小学部作文発表会

2月7日(金)5限目に小学部の作文発表会を開催しました。小学部8名の児童一人ひとりが、この1年でできるようになったことや思ったこと、また日頃感じていることやがんばっていることなどを自分のことばで発表しました。作文発表会は、小学生にとっては大きなプレッシャーだったと思いますが、全員が一生懸命に練習したことがよくわかる発表会でした。みんなよくがんばりました。すばらしい発表会になりました。保護者の方もお忙しい中、多数参観いただきました。ありがとうございました。

自分の想いや考えを相手に「正しく伝えること」、そして相手のことを「正しく理解すること」——どちらも大切なことです。そしてこのような作文発表会は、正しく伝えることの修練には絶好の機会となったと思います。来年の作文発表会も楽しみです。

【はり供養、あん摩・はり競技会】

1月31日(金)に「はり供養」と「あん摩・はり競技会」を開催しました。「はり供養」は日頃の実習で使用しているはり(鍼)に対して、感謝の気持ちを学び、技術の向上を願うために毎年この時期に行っています。理療科の生徒職員が一堂に会し、実習で使用したはりを豆腐に刺して感謝の黙とうを捧げました。あん摩・はり競技会では、日頃培ってきた技術を複数の職員が審査項目に沿って審査し、良い点や課題点などを講評する形で行いました。張り詰めた緊張感の中、生徒も職員も真剣に取り組みました。

幼小小学部

【作文発表会 2月7日】

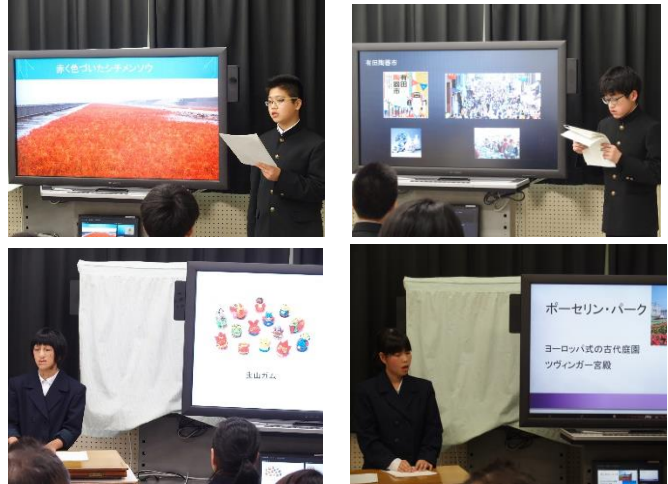
小学部恒例の作文発表会を5校時、図書室にて行いました。8人の児童の作文の題名は、「もりあがった一年生のたいいくさい」、「二年生でがんばったこと」、「できるようになったこと」、「いっぱい食べて元気もりもり」、「ぼくは十才」、「十才になったぼく」、「わたしの成長」、「忘れられない言葉」と、それぞれが自分の思いを精一杯表現しました。たくさんの保護者や先生方や友達の前で、練習の成果を発揮し、堂々と発表していました。この1年間の成長が感じられる作文発表会でした。



中学部

【プレゼン発表会】

1月24日(金)6校時に中学部のプレゼン発表会を行いました。テーマは「自分たちの住んでいる町をPRしよう」でした。各自、住んでいる町の特徴をよくとらえ、簡潔にまとめていました。堂々と発表している姿にそれぞれの成長を感じました。



高等部

【はり供養、鍼・あん摩競技会】

1月31日(金)に毎年恒例のはり供養と鍼・あん摩競技会が行われました。



【佐賀県教育委員会表彰】

2月14日(金)普通科3年平山彩羅さんが、第69回ヘレン・ケラー記念音楽コンクールピアノ部門の実績を表彰されました。

【あはき師国家試験受験生激励会】

2月21日(金)の保健医療科と専攻科の全員による激励会が行われました。3年生は、職員と生徒達から激励の言葉を受け、一人ずつ決意表明をしました。



寄宿舎

【男子棟棟活動～性教育～】

小中高生を対象にした「男の身だしなみ講座～入浴編～」では、洗髪や洗体の仕方を学びました。一学期は身だしなみ、二学期は挨拶、三学期は入浴をテーマに取り組んできました。話を聞くだけでなく、きちんと自分のこととして考え、行動に移し、将来の自立に向けて大切なことを話し合いました。



【部屋活動】

部屋会で自分たちが食べたいものを話し合い、おやつ作りや調理実習を計画・実施しています。女子舎生の部屋では、「スイートポテト」を作り、オーブントースターで焼いた後、アイスクリームもトッピング。「おいしい～！！」と他舎生にもおすそ分けをして楽しい時間をみんなで共有することができました。



見えないことや見えにくいことで困っていませんか？
「目の支援センター ゆうあい」へ相談してみましよう。
相談は無料です。秘密は厳守します。
相談しても、盲学校に転入学する必要はありません。

佐賀県立盲学校
目の支援センター
ゆうあい
TEL 0952 - 23 - 4672

